

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん
載っています

作成: NPO 法人 ハケ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可: 茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

記号の説明:

①xx: ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照

②xx: ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

アマゴがいた～！ (悦)

前回まで暑さ対策が必要でしたが、打って変わって今回は、とても寒い一日でした。沢で、20cmくらいに成長したアマゴを観察できました。

今回は、果実の色々を見ながら進み、道沿いの伐採されてされたカラマツとアカマツの直径と年輪を数え比較してみました。今回は、とにかく寒くて、昼食を短時間で、帰りを急ぎました。

帰り道、野鳥の小径のフモミズナラではないかという樹木の「ドングリ」探しをしましたが、フモミズナラらしい殻斗は見つかりませんでした。ミズナラの殻斗とは違っているように見えます。これも継続調査です。



いろいろな果実 (洋) 画像(悦)

●コブシ(辛夷)の実実は早春に咲く白い花には似つかない形。

赤い実を引いて白い糸が伸びるのを確認。

●アブラチャン(油漑青)のまだ緑色の実を割ったら、優雅な香りが楽しめた。

●熟したナツハゼ(夏黄櫨)の実を遠慮なく食させて頂いた。

血液浄化が期待されるとのこと。

気のせいか、すっきりしたように感じた。



コブシ



ナツハゼ

変なキノコ センニンタケとサンコタケ (悦)



ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《問合せ》 NPO 法人 ハケ岳森林文化の会

☎: 0266- 75-1772

WEB ガイドを拡張しました。

観察会で長年撮りためた写真を利用して、スマホでも利用できる WEB ガイドを拡張しました。

①植物ガイド

②昆虫ガイド

③植物・昆虫を観察しよう

①②は植物・昆虫の名前、観察月で検索できます。

③はガイドブック2の「観て楽しむ」の章を掲載しています。



年輪の違い (悦)



カラマツ
直径41cm 64年



アカマツ
直径54cm 65年

樹齢がさほど変わらないのに、直径が13cm も違うのはなぜだろう？

この木何の木？ (悦)

野鳥の小径でフモミズナラとも、ミズナラとも違うドングリをみらせるこの木は？



フモミズナラ
沢沿いの小径



？
野鳥の小径



ミズナラ
標高 1400m

10月観察した虫たち (馬)

<昆虫>

●マイコアカネ♂がヒメアカネ♂

●ヒメツチハンミョウ♂(?)

<その他>

●アマガエル

●ニホンカナヘビ

●ミミズの仲間

10月観察した花 (悦)

★ヤクシソウ①109

★アキノキリンソウ①108

★シロヨメナ

★アケボノソウ①111

★ハナタデ②96

★ゲンノショウコ①100

★イヌタデ①103

★ミズヒキ①103

★ノコンギク①110

★ツクバトリカブト①113

★リンドウ①112

10月観察した果実

●ミツバウツギ①74

●アブラチャン①66

●マタタビ②83

●ツノハシバミ①67

●アケビ②72

●オニグルミ②104

●クリ①123

●コナラ①121

●ウバユリ①97

●オニドリコ①86

●キブシ①67

●キミズミ①71

●コブシ①68

●オトコウバメ①76

●ガマズミ①83

●コバノガマズミ①76

●ミヤマガマズミ②76

●カマツカ①135

●サンショウ①138

●アオハダ①129

●ムラサキシキブ①93

●アオツツラフジ②92

●ボタンヅル①92

●ハンショウツル②79

●ミズキ①79

●ナツハゼ②81

●スイカズラ①84

震えながらの 10 月の観察会 (黒)

季節の変化などと悠長なことを言っていられないくらいの急激な寒さ。今年の天気はどうしてこんなに激しいの、とぼやきながら、震えながらの 10 月の観察会。この時期、花も少なく寂しいですが、木々の営みはいつに変わらず、悠々と進んでいき、木の実を見て歩くだけでも結構楽しい。
赤い実がガマズミ類、カマツカなど。紫の実をつけたムラサキシキブに絡んだ黒い実のスイカヅラも対照が面白い。



カマツカ



ムラサキシキブ & スイカヅラ

アブラチャンの実の外皮がはじけて中の種子が見えています。
アオツツラフジの実は黒く熟しておいしいのですが、アルカロイドが含まれており有毒。ボタンツルはもうすぐ絹糸のような細い毛を付けた種を飛ばしそうな感じです。
マムシグサの実を割ってみたら、なんと！沢山の糸。この糸の役目は何？一本づつそれぞれの種(赤い実)に繋がっているのかな？時間がなくて検証できなかった。



ボタンツル



マムシグサ

そして野草の中で一番いいくらい好きな花、ハンショウヅル。もう種になっていましたが、来年は是非とも花をみたい！！

今回出会った花は少なく、ヤクシソウ、アキノキノソウ、リンドウ、シロヨメナ、アケボノソウくらいかな。

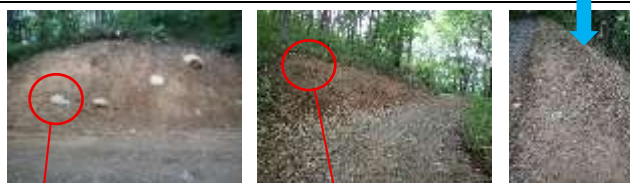


南コース法面遷移の過程を見る (矢)

2021 年 8 月豪雨で崩れた散策路路肩



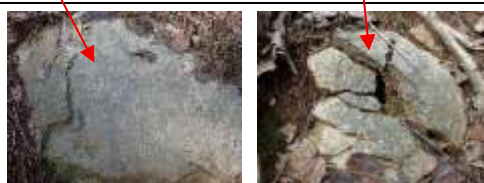
2022 年 6 月修復のために削られた法面



2025 年 10 月月例時
その後の法面



法面地層に含まれる風化した珪状岩



吉田山の基盤を成す岩石はマサ化しやすい花崗閃緑岩。法面の地層を構成する土はこの岩石と植物遺骸が長い年月をかけ造られたもの

私たちは土(地層)が形成される過程の一瞬を今、目撃しているのだ！

改めての発見 (口)



ヒメツチハンミョウ(?)
名前にハンミョウとついているがニワハンミョウとは科が違う、関節のあたりから毒を含んだ体液を出すようです。触覚の一部に膨らんだ特徴がある物が雄です。



花が残る

オニドコロ

花弁は細長く果実の上側に花が残り、種子はオタマジャクシのような形をしています。



種子

10月の花と実 (悦)



ツクバトリカブト



シロヨメナ



アケボノソウ



リンドウ



サンショウ



アオツツラフジ



オトコヨウゾメ



ウバコリ



ボタンツル



ハンショウヅル

なるほどタネが似ているはずですがキンポウゲ科センニンソウ属の仲間でした。